

防ごう子どもの水の事故

子どもたちは夏休みを迎えました。プールや海水浴場がにぎわう季節です。そこで気をつけたいのが水の事故です。一瞬の油断が重大な事故につながります。普段以上に気配り、目配りをして子どもたちを悲惨な水難事故から守りましょう。

水の事故を防止するために

通学路や自宅周辺の安全確認を！

川、堰、ため池等、危険な場所を把握し、危険と思われる場所を通る時には、注意するよう日頃から教えておきましょう。

なぜ危険なのか、理由を教えましょう！

危険な場所で遊んだり、水遊びをしている子どもを見た時は、「危険な理由」を教えて、安全な場所で遊ばせましょう。

子どもを視界から離さないで！

事故は、保護者がちょっと目を離した隙に多く発生しています。目を離さず、子どもだけの水遊びを禁止しましょう。



プールや海では細心の注意を！

「悪ふざけ」は、やがてエスカレートして取り返しのつかない事故を招くこともあります。浮き輪を使っているからと安心せずに注意深く監視し、適宜休憩を取らせましょう。

PA連携（救急支援）出動

救命率向上と迅速な救急活動を行うために

「PA連携出動」とは、消防ポンプ車（Pumper）が、救急要請の内容により出動し、救急車（Ambulance）の活動を支援する連携活動のことで、双方の頭文字から「PA」と呼ばれています。消防車にもAEDや応急処置器材を積載し、救急隊員と同資格を有する隊員が乗車していますので、ご安心ください。

「PA連携」で出動するのは こんな時です

- ◆ 119番の電話の内容から心肺停止が疑われる時。
- ◆ 2階以上に傷病者がいて、搬送困難な時。
- ◆ 交通量の激しい場所で、傷病者の安全を確保する必要がある時。
- ◆ ドクターヘリや防災ヘリを運用する時。
- ◆ その他救急隊の活動を支援する必要があると判断した時

など



「救急車を呼んだのに消防車まで来た！」と驚かれる場合もあるかもしれませんが、市民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。